

いわて知的財産権セミナー 「喧嘩の作法」 ～ものづくり基盤企業における知的財産権の保護と活用～

開催日：2018年8月29日（水）14:30～16:30

場 所：北上市産業支援センター研修会議室A・B



本セミナーでは、知財の専門書でありながらベストセラーとなった著書「喧嘩の作法」を執筆された久慈直登氏を講師に招き、さまざまな企業が知的財産をうまく活用した事例や金融機関が資金を融資する場合に、知的財産をどう見ているか？などの最新の情報について講演頂きました。参加者は75名。

知財情報を企業戦略に活用できる。最新の特許情報を見て次に何がイノベーションとして起きるかを予想していく事も大切！

特許権は、各国で手続きがある。同時発明であっても手続きが早い方が優先。

知財の使い方。特許として技術を公開する部分と非公開（社内ノウハウにする）にしておく部分を使い分け、権利行使できるものを出願する。

ノウハウが重要！基本的にはノウハウもノウハウも特許出願すべきでない。



【講師 久慈直登氏】
一般社団法人
日本知的財産協会
専務理事

[問合わせ先]

北上産業支援センター（指定管理者）（株）北上オフィスプラザ

HP <http://www.kitakami.ne.jp/~mono/> 電話 0197-71-2181